

公益社団法人 北海道臨床工学技士会ニュース



No.130

ホームページ <http://hcea.umin.ac.jp>

事務局へのお問い合わせは上記 Homepage お問い合わせフォームより

発行人:大宮 裕樹

〒062-0931

北海道札幌市豊平区平岸1条6丁目 3-40

KKR 札幌医療センター

診療技術部 臨床工学科

TEL 011-822-1811

会長就任挨拶

公益社団法人北海道臨床工学技士会
会長 大宮 裕樹



して学術的に向上できるよう様々な活動を展開しております。

近年、臨床工学技士に対する必要性は向上しつつあり、平成19年医療法改定により医療機器の適正管理として医療機器安全管理責任者の設置、平成22年医療報酬改定にて透析液水質管理加算の新設、呼吸ケアサポートチーム加算の新設、業務指針として喀痰等の吸引、動脈留置カテーテルからの採血が認可、平成26年には特定集中治療管理料が新設され臨床工学技士の常駐化という条件が盛り込まれました。

これからも未来の臨床工学技士のために地位向上、職域拡大となるよう一丸となり社会に貢献する必要があります。

医療機器の安全管理や適正使用に関する情報発信や一般の方向けの講演会と学術技能の向上および資質向上を両立し、公益社団法人として北海道民へ還元しなければなりません。

関係各位の皆様におかれましては、北海道臨床工学技士会の活動とこれからの発展にご協力とご支援を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

2016年6月吉日

平素より、当技士会への運営と活動に対してご理解とご支援頂き、心より厚く御礼を申し上げます。

平成28年度総会を終え第4期役員へ改選となりこの度会長の任を務めることになりました。

当会は北海道臨床工学技士会として平成元年4月より初代会長井関竹男氏により団体設立、2代目真下泰氏が一般社団法人化の認可取得、3代目室橋高男氏が公益社団法人の認可取得をされ、歴代の役員の皆様の功績に理事一同敬意を払い、その意思・情熱を引き継ぎ当会の発展に寄与していく所存であります。会員の皆様におかれましても会発展のため、ご理解ご協力賜り誠にありがとうございます。

さて、当会の会員数は平成27年度に1000名を超える大所帯となりました。北海道唯一の臨床工学技士の職能団体として広く皆様に認知していただき、そ

公益社団法人 北海道臨床工学技士会ニュース—目次—No.130

会長就任挨拶	1
第2回指導者育成実技セミナー終了	2
第3回北海道・東北臨床工学技士会開催のお知らせ	2
理事会からのお知らせ	2
外部理事紹介	3
医療事故情報収集等事業医療安全情報	4
RM ニュース	5
8月からの予定表	5
頑張り！フレッシュャーズ	6
同一施設まとめ郵送のお知らせ	7

第2回指導者育成実技セミナー終了



指導者育成実技セミナー 教育講演の様子

2016年6月19日(日)KKR札幌医療センターにて第2回指導者育成実技セミナーが開催され、20名の参加がありました。

本セミナーは若手指導に携わる臨床工学技士・看護師の育成と向上を目的として企画されました。輸液ポンプ・シリンジポンプ・経腸栄養ポンプに関する知識・技術の向上と、指導のポイントをより具体的に確認するために正しい使用方法や安全に関する講演に加えて、各メーカーによる実技セミナーが行われ、医療安全の推進に繋げられる有意義なセミナーとなりました。

本セミナーにて講義していただいた先生方、座長の労をお取りいただいた先生方、そしてご協力いただいた各メーカーの皆様へ深く御礼申し上げます。



各メーカーによる実技セミナーの様子

第3回北海道・東北臨床工学会開催のお知らせ

岩手県盛岡市にて第3回北海道・東北臨床工学会が次の通り開催されます。多数の皆様のご参加をお願いいたします。詳細についてはwebサイトをご覧ください。

会期 2016年10月15日(土)・16日(日)

会場 アイーナ(いわて県民情報交流センター)

学会長 菊池 雄一(岩手県立胆沢病院)

演題募集期間

2016年7月1日(金)~2016年8月15日(月)正午

URL <http://ce-iwate.umin.jp/index.html>

理事会からのお知らせ

平成28年度7月13日の理事会において以下の報告・協議がされました。

- ・各委員会メンバー構成報告
- ・定款・規定変更について
- ・常務理事の活動報告
- ・点検バン®について
- ・北海道・東北連絡協議会(工学会)について
- ・日本臨床工学会(青森)スタッフ依頼について
- ・HP掲載依頼について
- ・平成28年度第1回北海道医療・福祉関係職能団体意見交換会(8月19日)について
- ・チカホパネル展について(8月27日)
- ・道臨工保険について
- ・新入会員承認について(3名)
- ・会費未納者、自動振り込み手続き未完者について(財務委員会)
- ・会誌のメディカルオンライン登録検討について(広報委員会)

外部理事紹介

今号より、当技士会の外部理事の先生を不定期で紹介します。今回はいわき特許事務所弁理士の岩城全紀先生です。

私は平成26年より外部理事を拝命しております岩城と申します。簡単に自己紹介させていただきます。生業としております仕事は、弁理士という資格に基づいた特許事務所というのをやっております。特許事務所とは、発明や商標などの知的財産について、法律に規定に従った書類を作成し、お客様に代わって特許庁に代理人として申請をすることが主たる業務ですが、一般の方には少々なじみづらい職業の一つではないでしょうか。かくいう私自身も大学卒業後に、その存在を知ったような次第であります。

知的財産を扱う仕事と一口に申しまして、非常に幅が広く、特許切れの医薬品が話題になったりするように、薬学系やバイオ系の他、電気系、機械系などの特許技術、又、意匠（デザインに関するもの）、商標（トレードマーク）、著作権などが対象となりますが、小生の場合、主として機械関連の特許技術、意匠、商標を一応の専門としております。

臨床工学技士の先生方は様々な医療機器を扱っておられ、且つ、技術の高度化、専門化が進んでいる昨今においては日頃の研鑽が欠かせない大変なご職業であると拝察しております。そ



いわき特許事務所 弁理士
岩城全紀先生

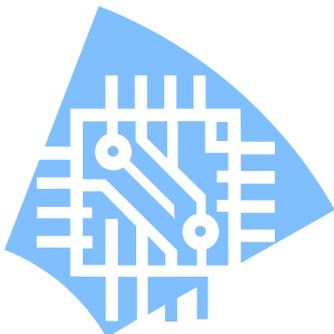
の点、私の場合も特許技術を扱う以上は本来勤勉でなければいけないのですが、少年老いやすく学成り難しということを感じつつも、50歳の坂を越えてしまった次第であります。

私が技士会様の外部理事をさせて頂く切っ掛けとなったのは、前会長の室橋先生より、現在は登録商標となっている「点検バン®」について、ご相談を受けたことです。技士会様が発案されたネーミングであることから、室橋前会長の熱心な要請を受け、自分なりの解決策を提案させて頂きました。

これからも技士会様に多少なりともお役に立てるように、謙虚、一期一会をモットーに、もう一頑張りする所存です。至らない点が多々あるかと存じますが、今後ご指導・ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

平成28年8月1日

岩城 全紀



医療事故情報収集等事業医療安全情報

(詳細は日本医療機能評価機構のホームページをご覧ください)

医療事故情報収集等事業 医療安全情報 No.114 2016年5月

公益財団法人 日本医療機能評価機構

医療事故情報収集等事業
医療安全情報

No.114 2016年5月

抗凝固剤・抗血小板剤の再開忘れ

観血的医療行為のために中止していた抗凝固剤または抗血小板剤の再開を忘れた事例が4件報告されています(集計期間:2012年1月1日~2016年3月31日)。この情報は、第34回報告書「個別のテーマの検討状況」(P135)で取り上げた内容を基に作成しました。

観血的医療行為のために中止していた抗凝固剤または抗血小板剤の再開を忘れたことにより、患者に影響があった事例が報告されています。

主な薬剤	薬剤名	再開忘れに気付いた時期	背景
抗凝固剤	ワーファリン錠	観血的医療行為の17日後	抗凝固剤の再開可能な時期になっても再開について検討されなかった。
	ワーファリン錠	観血的医療行為の10日後	「薬剤全て再開」と指示したため、手術直前まで内服していた薬剤のみ再開し、それ以前に中止していたワーファリン錠は再開されなかった。
	ブラザキサカプセル	観血的医療行為中止の14日後	腎生検が中止になった際、中止していたブラザキサカプセルの再開を忘れた。
抗血小板剤	バイアスピリン錠	観血的医療行為の9日後	「手術翌日よりバイアスピリン錠再開」の指示があったが、指示を見落とす。

医療事故情報収集等事業 医療安全情報 No.114 2016年5月

抗凝固剤・抗血小板剤の再開忘れ

事例1

医師は手術のため、患者の抗凝固剤(ワーファリン錠)を中止した。術後出血のリスクを考え、抗凝固剤の再開時期を遅らせる予定であったが、そのまま再開しなかった。術後17日目、医師が患者に声をかけると反応がなかったため頭部CT検査を行ったところ、脳梗塞を認めた。

事例2

手術の1週間前より抗血小板剤(バイアスピリン錠)を中止した。医師は入院時指示に「手術翌日よりバイアスピリン錠再開」と記載したが、看護師は指示を見落とす再開しなかった。術後9日目、患者が傾眠傾向であったため頭部MRI検査を行ったところ、多発性の脳梗塞を認めた。

事例が発生した医療機関の取り組み

- ・術後指示に抗凝固剤や抗血小板剤の再開日の記入欄を追加する。
- ・病棟薬剤師は、術後の抗凝固剤や抗血小板剤の内服状況について、医師に情報提供する。

※この医療安全情報は、医療事故情報収集等事業(厚生労働省補助事業)において収集された事例をもとに、本事業の一環として総合評価委員会の専門家の意見に基づき、医療事故の発生予防、再発防止のために作成されたものです。本事業の趣旨等の詳細については、本事業ホームページに掲載されている報告書および年報をご覧ください。
http://www.med-safe.jp/
※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。
※この情報は、医療従事者の責を制限したり、医療従事者に義務や責任を課したりするものではありません。

公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部
〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-4-17 東洋ビル
電話：03-5217-0252(直通) FAX：03-5217-0253(直通)
http://www.med-safe.jp/

医療事故情報収集等事業 医療安全情報 No.115 2016年6月

公益財団法人 日本医療機能評価機構

医療事故情報収集等事業
医療安全情報

No.115 2016年6月

2012年から2014年に提供した医療安全情報

2015年にも再発・類似事例が発生しています

- ◆医療安全情報No.62~97の再発・類似事例件数です。
- ◆再発・類似事例が5件以上報告された医療安全情報は、事例を掲載しています。

番号	タイトル	2015年の報告件数
No.62	患者の体内に植込まれた医療機器の不十分な確認	2件
No.63	画像診断報告書の確認不足	11件
5年前、腰部大動脈瘤に対しステントグラフト内挿術を施行し、以後心臓血管外科で評価のためのCT検査を行っていた。心臓血管外科の医師は、画像診断報告書が報告される前にCT画像を見て結果を患者に説明し、診察後に画像診断報告書を確認しなかった。その後、呼吸器内科で患者に肺がんが発見された際、過去のCT検査の画像診断報告書を確認したところ、3年前に気管分岐部近傍に肺陰影が指摘されていたことがわかった。(他10件)		
No.65	救急カートに配置された薬剤の取り換え	3件
No.66	インスリン含量の誤認(第2報)	3件
第1報：医療安全情報No.1		
No.68	薬剤の取り換え(第2報)	4件
第1報：医療安全情報No.4		
No.69	アレルギーのある食物の提供	1件
No.71	病理診断報告書の確認忘れ	5件
医師は、患者の定期診察を行った際、1年前の内視鏡検査の病理所見で早期胃癌を指摘されていたことに気付いた。今回の内視鏡検査で胃癌は増大しており、早急な治療が必要な状態であった。(他4件)		
No.72	硬膜外腔に持続注入する薬剤の誤った接続	1件
No.73	放射線検査での患者取り換え	2件
No.75	輸液ポンプ等の流量と予定量の入力間違い	1件
No.77	ガベキサートメシル酸塩使用時の血管炎(第2報)	2件
第1報：医療安全情報No.33		

医療安全情報 No.115 2016年6月

2012年から2014年に提供した医療安全情報

番号	タイトル	2015年の報告件数
No.78	持参薬を院内の処方に切り替える際の処方量間違い	4件
No.80	膀胱留置カテーテルによる尿道損傷	10件
膀胱留置カテーテルを抵抗なく挿入できたが、尿の流出はなかった。看護師は、患者が処置直前にトイレで排尿を済ませていたので膀胱内に尿が溜まっていなと考え、10mLに蒸留水10mLを注入した。患者が痛みを訴えたため、膀胱留置カテーテルを抜去した。その後、排尿時に尿道から出血があったため、泌尿器科医師が診察し、尿道損傷による出血と診断された。(他9件)		
No.81	ベッド操作時のサイドレール等のすき間への挟み込み	2件
No.82	PTPシートの誤飲(第2報)	11件
第1報：医療安全情報No.57		
看護師は、PTPシートを1錠ごとにはさみで切り、患者に配薬した。その後、患者より1錠/錠PTPシートごと薬を飲み下し、つかえ感があるとの訴えがあった。こみ箱を確認すると、夕食後の薬のうちロキソプロフェンPTPシートだけが残っていた。(他10件)		
No.83	脳脊髄液ドレナージ回路を開放する際の誤り	1件
No.85	移動時のドレーン・チューブ類の偶発的な抜去	7件
術後、患者を手術台からベッドに移動した際、右内頸静脈に留置中の中心静脈カテーテルがスライディングボードに引っ掛かり、13cm固定から6cmまで引き抜かれた。中心静脈カテーテルよりドボンを投与しており、一時的に血圧が60mmHg台に低下した。(他6件)		
No.86	禁忌薬剤の投与	1件
No.92	人工呼吸器の配管の接続忘れ	1件
No.94	MRI検査室への磁性体(金属製品など)の持ち込み(第2報)	4件
第1報：医療安全情報No.10		
No.95	セントラルモニタの送信機の電池切れ	2件
No.97	肺炎球菌ワクチンの製剤の選択間違い	1件

- ◆医療安全情報No.1~97の再発・類似事例につきましては、平成27年年初に掲載いたします。
- ※この医療安全情報は、医療事故情報収集等事業(厚生労働省補助事業)において収集された事例をもとに、本事業の一環として総合評価委員会の専門家の意見に基づき、医療事故の発生予防、再発防止のために作成されたものです。本事業の趣旨等の詳細については、本事業ホームページに掲載されている報告書および年報をご覧ください。
http://www.med-safe.jp/
※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。
※この情報は、医療従事者の責を制限したり、医療従事者に義務や責任を課したりするものではありません。

公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部
〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-4-17 東洋ビル
電話：03-5217-0252(直通) FAX：03-5217-0253(直通)
http://www.med-safe.jp/

◆RM ニュース◆

<呼吸管理怠り死亡と提訴 岩手県に賠償請求>

2013年に岩手県の病院で男性＝当時(73)＝が死亡したのは、病院側が呼吸管理を怠ったためとして、奥州市と仙台市に住む遺族が県に計約3880万円の損害賠償を求めて仙台地裁に提訴したことが3日、分かった。提訴は4月4日付。

訴状によると、男性は13年3月、自宅寝室で転倒して頸椎(けいつい)を脱臼。搬送先の病院に入院中、たんが頻繁に出るようになったのに、病院側が呼吸管理の注意義務を怠ったため、同4月7日に死亡したとしている。病院側は死因を「たんで気道がふさがり、無酸素状態が続いて脳へのダメージが生じた」と説明した。

遺族側は、意識障害がある中で両手を拘束されており、自力でたんを取り除くことはできなかったとも主張している。

岩手県の担当者は「訴状の内容を確認して、今後の対応を検討したい」と話した。

2016年6月6日(月) 配信：共同通信社

<加湿器に誤って消毒液 肺炎入院1歳児のベッド>

名古屋市区の病院で5月、肺炎で入院した男児(1)の酸素テントの加湿器に、精製水と間違えて消毒液を入れるミスがあったことが9日、病院への取材で分かった。病院によると、男児は6月2日に退院し、健康被害は確認されていない。医療ミスと認め家族に謝罪した。

男児は5月24日夜、肺炎と診断され入院。治療用にベッドをビニール製の酸素テントで覆い、20代の女性看護師がテントの加湿器に消毒液約40ミリリットルを入れていた。精製水と消毒液は同じ棚にあり、看護師が使用時にボトルの確認をしていなかったという。ボトルは色や形状が似ていた。

テントを取り外した27日、加湿器のタンクの異常から取り違いに気付いた。また加湿器に注水を続けていなかったことも判明した。病院は同日中に家族に経緯を説明し、退院翌日に院長が正式に謝罪した。

病院の調査では、加湿器に同量の消毒液を入れると、約3時間で止まったという。

病院は職員にボトルの確認を徹底させるほか、精製水と薬剤を別に保管するよう再発防止策を実施したとしている。

2016年6月9日(木) 配信：共同通信社

8月からの予定表

下記に示すセミナー、学会等が開催されます。皆様多数の参加をお願いいたします。詳細は公益社団法人 北海道臨床工学技士会ホームページまたは各記載のwebサイトをご覧ください。

2016年8月27日(土)

「日胆地区臨床工学技士会講演会」

会場 苫小牧日翔病院 2F 目的ホール

苫小牧市矢代町2丁目9-13

http://hcea.umin.ac.jp/files/pdf/h28files/nittan_20160827.pdf

2016年9月2日(金)～9月3日(土)

「サッポロライブデモンストラーション
コース2016」

会場 ロイトン札幌

札幌市中央区北1条西11丁目

<http://sldc.co.jp/>

2016年9月11日(日)

「北海道透析技術談話会」

会場 北海道大学学術交流会館

札幌市北区北8条西5丁目

http://hcea.umin.ac.jp/files/pdf/h28files/hokkaido_tousekidanwakai2016.pdf

2016年9月17日(土)～9月18日(日)

「生体医工学シンポジウム2016」

会場 旭川市大雪クリスタルホール 国際会議場

旭川市神楽3条7丁目

<http://jbmes2016.jsmbe.org/>

頑張れ！フレッツヤーズ

このコーナーは、平成27年度の卒業生で北海道臨床工学技士会より表彰を受けた道内臨床工学技士養成校の卒業生に、現在の状況や今後の抱負など熱い思いを語ってもらうコーナーです。

今回は、平成28年3月に北海道科学大学を卒業し、現在 JA 北海道厚生連帯広厚生病院にて勤務中の中村一輝さんです。



JA 北海道厚生連帯広厚生病院
中村 一輝

私は、平成28年3月に北海道科学大学 医療工学部 医療福祉工学科を卒業し、4月より JA 北海道厚生連帯広厚生病院 医療技術部 臨床工学技術科で勤務しています。

当科で行っている業務は透析業務、手術室業務、ICU 業務、心臓カテーテル業務、内視鏡業務、高気圧治療業務、ME センター業務など多岐にわたっております。その中で私は、各部署を約2週間ごとに回り、先輩方に指導していただき日々努力をしています。

最初の頃は右も左もわからず、ただひたすら先輩に言われたことを確実にこなしていました。しかし部署によっては完全に1人でやらなければいけない業務もあるので、今何をしなければいけないのか、何が起こると予想され、それに対してどう動かなければいけないのかを常に考えて業務に挑まなければいけないと先輩の技士に指導いただき、仕事に対する向き合い方を考え直しました。

現在は日々自分が行う業務は勿論、先輩の技士や他の医療スタッフの方が行っている仕事に対して、「なぜこのようなことを行っているのか」という疑問を常に持ち、疑問が出た時点でその場で解決できるように心掛けています。基本的なことだとは思いますが、これが日々の達成感に繋がりとモチベーションにも繋がることだと信じています。先輩の技士の方々も時に厳しく時に優しく指導して下さるので、理解を深めることができ、先輩方を手本に努力していきたいです。

入職して3か月が経ち職場にも少しずつ慣れてきましたが、出来ない業務はまだ沢山あり力不足を感じる毎日が続いています。しかしこのような恵まれた環境で働くことが出来ていることに感謝し、将来はすべての業務が行うことが出来るゼネラリストを目指し、他の医療スタッフや患者様から信頼される臨床工学技士を目指し日々精進していきたいと思えます。



同一施設まとめ郵送のお知らせ

現在正会員の郵送物は全て個別に郵送しております。郵送コスト削減策として8月の技士会ニュースより、同一施設まとめ郵送を実施することになりました。角2封筒1枚に個別包装された郵送物をまとめて入れることにより郵送代が大幅に節約できます。なおご自宅が郵送先の方は今までどおり郵送いたしますが、できる限り各施設への郵送に変更していただけますよう、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

医療機器・理化学機器・福祉機器

WISM 株式会社 ムトウ

取扱品目 医療機器・理化学機器・ME 機器・病院設備・放射線機器・メディカルコンピューター
貿易業務・歯科機器・福祉機器・介護用品

代表取締役社長 田尾延幸

札幌本社(北海道事業本部) / 札幌市北区北11条西4丁目1番15号・☎(011)746-5111



高リン血症治療剤

処方箋医薬品^(注) 注)注意-医師等の処方箋により使用すること。

薬価基準収載



ピートル[®] チュアブル錠 250mg 500mg



P-TOL[®] Chewable Tab.

スクロオキシ水酸化鉄(sucroferic oxyhydroxide)チュアブル錠

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

製造販売元  キッセイ薬品工業株式会社

松本市芳野19番48号 <http://www.kissei.co.jp>
<資料請求先> <すり相談センター> 東京都中央区日本橋室町1丁目8番9号
TEL 03-3279-2304 フリーダイヤル 0120-007-622

PT3011JD
2016年1月作成

経験と実績から生まれたME機器管理システム

HOSMA[®] Hospital Management System

詳しくはネットで ▶▶▶ www.hosma.net



株式会社ムトウテクノス 札幌市中央区北2条西17丁目1-2 TEL: 011-644-6400

最新・最先端の医療機器の情報をご提供します。

SHIP HEALTHCARE GROUP



SMC株式会社 札幌メディカルコーポレーション

本社 札幌市白石区本通3丁目北6番18号 ☎ 011-862-4061
函館営業所 ☎ 0138-83-2252 室蘭営業所 ☎ 0143-83-7720
旭川営業所 ☎ 0166-76-1065 北見営業所 ☎ 0157-57-1672

【業務内容】 1. 医療機器販売(循環器、不整脈、心臓外科、ニューロ、体外循環など)
2. 医療業務サポート(中材、SPD、医院開業) 3. その他
※詳細は、当社ホームページをご覧ください。⇒ http://www.ksmc.jp

針刺し防止機構付き透析用留置針 Happycath NEO

- フルカバータイプのセーフティ機能
カテーテル表面の潤滑性向上



メディキット株式会社

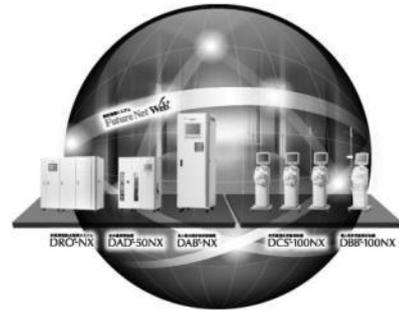
発売元: メディキット株式会社 〒113-0034 東京都文京区湯島 1-13-2 TEL.03-3839-0201
製造販売元: 東亜メディキット株式会社 〒883-0082 宮崎県日向市大字白知屋字亀川 17148-6 TEL.0992-53-8000
http://www.medikit.co.jp/
http://www.togomedikit.co.jp/

医療機器認証番号: 21200BZZ00547000
販売名: ハッピーキャス クランプキャスP



NIKKISO Total System NX

安定した治療と、業務の最適化をサポートします。



日機装株式会社

本社 〒150-6022 東京都渋谷区恵比寿4丁目20番3号 TEL.03-3443-3751 FAX.03-3473-4965



高リン血症治療剤 処方せん医薬品[※] 薬価基準収載

リオナ錠250mg

Riona® 一般名: クエン酸第二鉄水和物
注) 注意-医師等の処方せんにより使用すること



効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

資料請求先
鳥居薬品株式会社 お客様相談室
TEL 0120-316-834 FAX 0120-797-335

販売元
鳥居薬品株式会社
東京都中央区日本橋本町3-4-1

製造販売元
日本たばこ産業株式会社
東京都港区虎ノ門二丁目2番1号

2014年5月作成

EVERY BREATH IS PRECIOUS.

Nellcor™ PM1000N



Puritan Bennett™ 560



販売名 ネルコアレスピラトリーモニタPM1000N
医療機器承認番号 22700BZX00045000
販売名 ビューリタンベネット560
医療機器承認番号 22300BZX00031000

製造販売元
コヴィディエン ジャパン株式会社
RMS (Respiratory & Monitoring Solutions) 事業部
Tel: 0120-998-971
medtronic.co.jp

Medtronic
Further, Together

TORAY
Innovation by Chemistry

東レ独自の膜表面改質技術を採用し、
多様なHDF療法に応えるヘモダイアフィルター

TDF **PV**
HV
MV

販売名: トレスルホンV
一般名: 血液透析濾過器
医療機器承認番号: 22700BZX00322000
医療機器区分: 高度管理医療機器

販売業者
東レ・メディカル株式会社 <http://www.toray-medical.com/>

製造販売業者
東レ株式会社

改正医療法
施行規則対応

**ME機器チェックと
機器管理システムが連動!**

日本語ソフトとの連携で、
簡単・効率的にテスト!

院内ME機器チェックとME機器管理システムが連動し、保守・点検時に測定した各種データやレポートを、自動的に電子データにて管理! 同一システム上で精度管理と機器管理が行えます。

機器の運用情報を可視化 オートテスト・自動判定機能
タグを使用し簡単所在管理 テストレポート自動作成・管理

ME機器管理システム
Me-ARC

ETS 株式会社 メッツ TEL (03) 3888-8445
〒120-0036 東京都足立区千住仲町1-7 sales@mets-tokyo.jp www.mets-tokyo.jp

ME機器チェック

AsahiKASEI

ポリスルホン
ヘモダイアフィルタ

ABH Series

実績のあるポリスルホン膜を採用
幅広い4種類の膜面積を揃えました

旭中空糸型血液透析濾過器

ABH-F
旭中空糸型ヘモダイアフィルター
中空糸内径の拡大により血液側圧力損失を低減
高度管理医療機器
承認番号 22000BZX00696000

ABH-P
旭中空糸型血液透析濾過器
中空糸内径と細孔径を最適化
高度管理医療機器
承認番号 22200BZX00577000

旭化成メディカル株式会社
<http://www.asahikasei-medical.co.jp>
No.2012.5-7470

持続型赤血球造血刺激因子製剤
生物由来製品、劇薬、処方箋医薬品[※]

薬価基準収載

ミルセラ® 注シリンジ
25 μ g, 50 μ g, 75 μ g, 100 μ g, 150 μ g, 200 μ g, 250 μ g

MIRCERA® Injection Syringe
25 μ g, 50 μ g, 75 μ g, 100 μ g, 150 μ g, 200 μ g, 250 μ g
エポエチンベータヘゴル(遺伝子組換え)注

製造販売元 中外製薬株式会社 (資料請求先) メディカルインフォメーション部
〒103-8324 東京都中央区日本橋室町2-1-1 TEL.0120-189706 FAX.0120-189705

ロシュグループ

※ F.ホフマン・ラ・ロシュ社(スイス)登録商標
注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

※ 効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については、製品添付文書をご参照下さい。
<http://www.chugai-pharm.co.jp>

2016年3月作成

あなたの勇気で救える命 ~AED(自動体外式除細動器)~

AED(自動体外式除細動器)は、音声ガイダンス指示に従うだけで、初めての人にも簡単に使えるように設計されています。駅構内、学校、病院、社会福祉法人、商業施設など様々な場所にAEDは設置されています。もしもの時の救える命のために、AEDをご検討の方はお気軽にお問い合わせ下さい。

act 最新医療機器と最新知識の提供を目指す
株式会社アクティブメディカル 代表取締役 山田 誠

〈本社〉〒113-0024 東京都文京区西片1丁目15番15号KDX春日ビル5階
TEL 03-5842-3015 FAX 03-5842-3016

〈支店〉西東京/横浜/千葉/埼玉/札幌/旭川/帯広/室蘭/釧路 URL <http://www.act.co.jp/medical/>

AED (自動体外式除細動器)
i-PAD CU-SP1

Medical Support Service Provider



株式会社 ぼくやく 竹山ホールディングス
TAKEYAMA HOLDINGS

生命と健康への貢献

「医師、医療スタッフとともに人々の生命と健康を守る」という創業以来の使命感のもと社会貢献度の高い仕事と誇りを持ち、日々努力を続けております。

血液浄化 低侵襲機器 内視鏡

「専門領域に特化した支援・サポート」
ニーズにお応えするため、それぞれの診療・治療に特化した専門担当部門を設けています。

整形外科 眼科

循環器 画像診断機器 テクニカルサポート

株式会社 竹山

代表取締役 茂野 護

本社 / 〒060-0006 札幌市中央区北6条西16丁目1番地5
☎011-611-0100(代表) <http://www.takeyama.co.jp>

充実した拠点網によるきめ細やかな営業体制

札幌圏	中央支店 ☎011-205-8061	北支店 ☎011-205-8065	新札幌支店 ☎011-861-2223
	大宮支店 ☎011-711-0123	旭支店 ☎011-711-0124	市野支店 ☎011-205-8062
	札幌センター ☎011-205-8063	旭センター ☎011-826-5161	
道央・道南圏	帯広支店 ☎0143-451221	苫小牧支店 ☎0144-53-2101	小樽支店 ☎0134-29-4524
	苫小牧支店 ☎0126-25-6992	函館支店 ☎0138-83-5000	
道東・道北圏	網走支店 ☎0154-25-2241	北見支店 ☎0157-31-3224	帯広支店 ☎0155-35-5800
	旭川支店 ☎0166-73-3011	空知支店 ☎0125-54-3465	道北支店 ☎01654-3-9955
首都圏	東京支店 ☎03-3814-0103	横浜支店 ☎045-232-3310	

在宅医療の未来へ

呼吸不全に対して多角的なアプローチをご提供し、在宅を中心に呼吸療法をきめ細かくサポートいたします。

先進の医療機器で健やかな呼吸をサポート

CHEST チェスト株式会社

本社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-25-11 TEL. (03)3813-7200(代)
札幌 VC 〒001-0020 北海道札幌市北区北20条西3丁目 江洋ビル TEL. (011)756-8585




生物由来製品
指定医薬品
処方せん医薬品*

ヘパフィールド®

透析用250単位/mLシリンジ 20mL

*注意 - 医師等の処方せんにより使用すること

数字と目盛りが見やすい!
内容量が確認しやすい!
より使いやすくなりました。
※製品色は赤紫色から青色に変わりました。

血液凝固阻止剤(ヘパリンナトリウム製剤)

ヘパフィールド®

透析用250単位/mLシリンジ 20mL

*注意 - 医師等の処方せんにより使用すること

販売元
株式会社 ジェイ・エム・エス
広島市中区加古町12番17号

Otsuka
株式会社 大塚製薬工場
徳島県徳島市徳島町立岩字赤松115

製造販売元
株式会社 ジェイ・エム・エス 血液浄化営業部
〒140-0013
東京都品川区南大井1丁目13番5号
新南大井ビル
TEL : 03-6404-0602

日本標準商品分類番号	87 3334
薬備基準収載	
<ul style="list-style-type: none"> ● 清潔操作を実現 ● 薬剤汚染を防止 ● 誤投薬を防止 	<ul style="list-style-type: none"> ● 調製作業を簡略化 ● 充てん操作が不要 ● 作業速度が向上

SERVO-U™は、保護換気の効果的な選択肢を幅広く用意しています。いずれも便利で、分かりやすく、そして使いやすく簡単です。つまり、強制換気、サポート換気、非侵襲的換気、自発呼吸トライアル(SBT)中などのあらゆる段階にある、多くの患者が高度な肺保護戦略の恩恵を受けることができます。パワフルな新モデルをぜひお試しください。



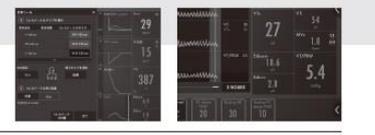
NEW 新生児・小児・成人用人工呼吸器 SERVO-U

製造販売承認番号:226009Z00361000 ※新生児はオプション

FUKUDA DENSHI

本社 / 〒060-0013 北海道札幌市中央区北13条西17丁目1番35号 TEL(011)737-3171(代)
お客様窓口 ☎ (03) 5802-6600 / 受付時間:月~金曜日(祝祭日、休日を除く) 9:00~18:00
<http://www.fukuda.co.jp/>

●旭川営業所 〒078-8345 北海道旭川市東光五条3-1-1 TEL(0166)32-6970(代)	●函館営業所 〒040-0012 北海道函館市時任町20-12 TEL(0138)55-6097(代)
●釧路営業所 〒085-0058 北海道釧路市愛国東2-11-16 TEL(0154)39-1088(代)	●北見出張所 〒090-0048 北海道北見市北8条西1-15 TEL(0157)22-6620(代)
●帯広出張所 〒080-0026 北海道帯広市西16条南1-18-5 TEL(0155)58-1810(代)	



北海道臨床工学技士会ニュース

広報担当 旭川リハビリテーション病院 臨床機器管理課 木村吉治
 北農会 恵み野病院 臨床工学科 日沖一木

編集委員 旭川赤十字病院 臨床工学課 奥山幸典
 旭川医療センター 統括診療部 本手 賢
 旭川医科大学病院 診療技術部 南谷克明

印刷

前田印刷株式会社

〒078-8233

旭川市豊岡3条6丁目
2番20号

0166-34-0111